

※2~3ページの配置案、別添の模型写真もご参照ください。

ID番号

■アンケート項目

設問1 日頃、第五小学校との関わりはありますか。（どちらかに○）

ア ある

⇒（どのような関わりですか？）

イ ない

設問2 現在、市では裏面のとおり「第五小学校配置案」を検討しています。ご意見がございましたら、記載をお願いします。（自由記載）

配置計画案	ご意見
①-1西側校舎配置案 体育館西側	
①-2西側校舎配置案 体育館北側	
②北側校舎配置案	
③南側校舎配置案	

設問3 その他、第五小学校の改築事業、学校に対する日頃お気づきの点についてご意見がございましたら、記載をお願いします。（自由記載）

（記載欄）

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

武藏野市立第五小学校改築に関する近隣アンケート調査ご協力のお願い

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

武藏野市では、令和2（2020）年3月に『武藏野市学校施設整備基本計画』をまとめ、昭和30～50年代に建築された学校について24年間かけて順次改築（建替え）することになりました。第五小学校は、本年7月より学校の関係者、保護者、地域住民、教育委員会等による『改築懇談会』を設置し、改築事業の話し合いを進めています。今年度、基本計画を策定し、その後、基本設計・実施設計・工事を進め、令和9年度の完成を目指しております。

このアンケートは、新しい第五小学校の建築計画の参考とするために、『武藏野市まちづくり条例』に基づく近隣関係住民（敷地境界から建築物の高さの2倍の範囲内の居住者、事業を営んでいる方、土地・建物の所有者）の皆様に送付しております。皆様のご意見を正確に把握するため、アンケート回答者が判別できるよう、ご住所にID番号を付与し、情報を管理しております。アンケート結果の一部は、改築懇談会などの会議資料として公開しますが、統計的に処理し、個人情報や回答内容が外部に漏れることはございません。

ご多忙とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

回答にあたってのお願い

- 1 次ページからの「アンケート項目」について、所定の欄に回答を記載してください。
- 2 回答は、この用紙を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函いただくか、FAXで送付いただくか、下記の二次元コードを読み取りGoogleフォームへ入力してください。
 - ・FAX番号 0422-51-9264
 - ・インターネット専用フォーム



←こちらから専用フォームへ
アクセスできます

提出または入力の締切：12月12日（月）必着

- 3 調査の内容などについて、わからないことがありましたら、下記までご連絡ください。

問い合わせ先：武藏野市教育部教育企画課 財務係 学校改築担当

電話番号 0422-60-1972

改築懇談会の資料・議事要旨は、下記ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

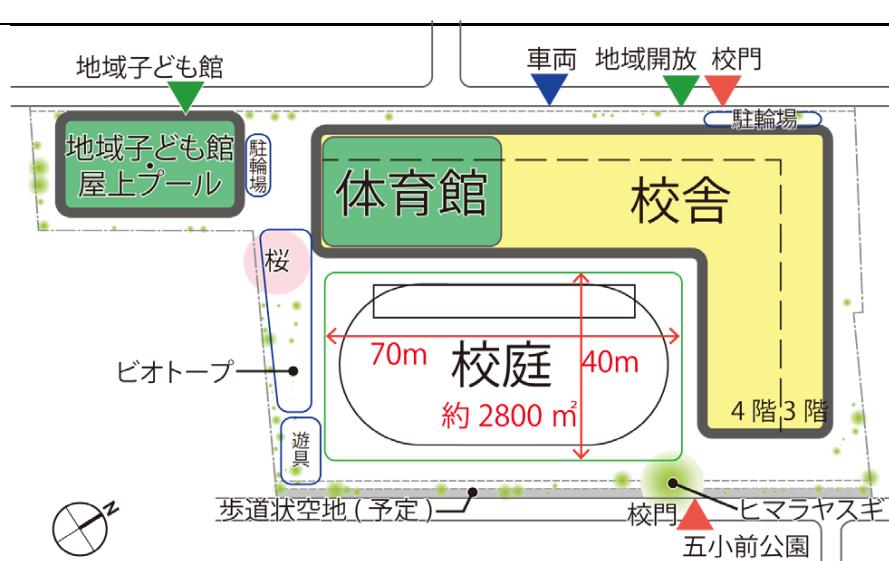
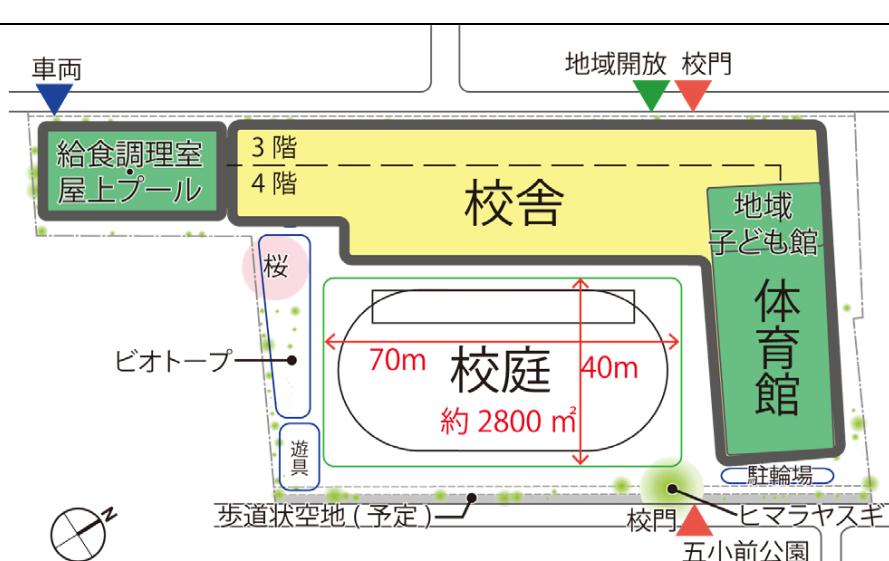
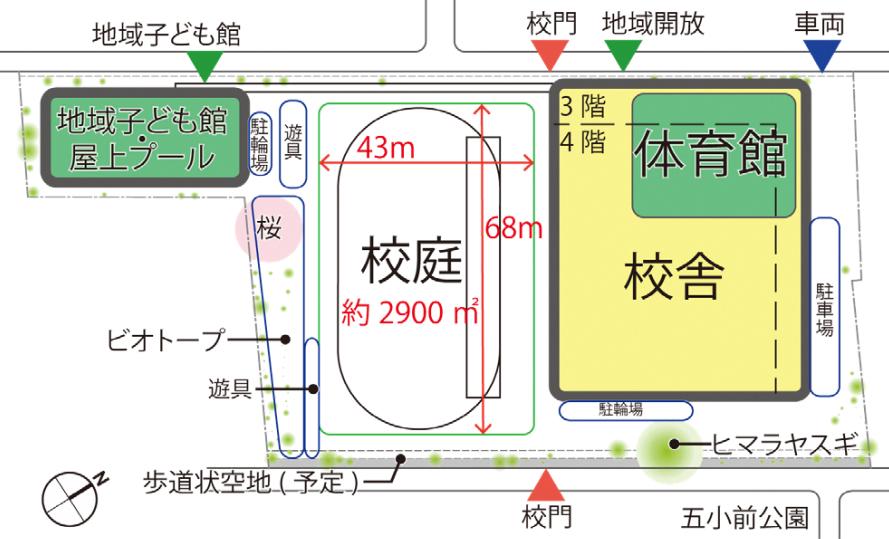
https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/shisaku_keikaku/kyoikubu_shisaku_keikaku/shochushisetsu_seibi/1037054.html



第五小学校 配置比較表

近隣アンケート

※新校舎等の概ねの配置を検討する資料です。令和5年度に着手する基本設計の中で、形状・位置等の調整が発生する場合があります。
なお、第4回改築懇談会資料では校舎内のプラン(基準階)を参考で提示しております。詳しくは懇談会ホームページをご参照ください。

配置計画案検討条件	①-1 西側校舎配置案 体育館西側	①-2 西側校舎配置案 体育館北側
1.法的な条件 日影規制や高さ制限等敷地にかかる法的条件により配置案を検討しています(既存校舎は既存不適格で現行の法令に適合していません)。どの配置案においても既存校舎と同様、4階建てになりますが、セットバック等で法的条件をクリアします。	<p>既存校舎に近い配置。校舎は体育館と一体化し、西側と北側にまとめる。 既存プール(平置き)部分に、1階に地域子ども館、屋上にプールを設置。 校庭は南東側になり、既存と同じ配置となる。校庭面積は既存とほぼ同等となる。</p> 	<p>既存校舎に近い配置。校舎は体育館と一体化し、西側と北側にまとめる。 既存プール(平置き)部分に、1階に給食調理室、屋上にプールを設置。 校庭は南東側になり、既存と同じ配置となる。校庭面積は既存とほぼ同等となる。</p> 
2.仮設校舎の有無 敷地内に仮設校舎は建設せず、工事中は第五中学校の敷地内に建設した仮設校舎を利用します。		
3.校庭の環境 配置案により、校庭の広さや校庭への日影の影響が変わります。		
4.周辺環境への影響 周辺環境にはできる限り配慮するよう検討しておりますが、建物の配置が既存から変わることにより、周辺への影響(日影や砂埃、騒音、圧迫感など)が新たに発生する可能性があります。		
5.学びの環境 学びの環境はラーニングコモンズ(学校図書館)を中心とし、教室と連続した空間が形成され、新しい学びの環境が実現できる。		
6.教室配置 校舎の配置や採光条件等により教室の配置を決めています。教室の配置により、隣地側が窓になることがあります。		
既存校舎 西側北側校舎配置	② 北側校舎配置案	③ 南側校舎配置案
	<p>校舎は体育館と一体化し、北側にまとめて配置。校庭は東西方向に開かれた配置。既存校舎よりも西側が開け、校舎の奥行が増える配置。 既存プール(平置き)部分に、1階に地域子ども館、屋上にプールを設置。 校庭は南向きになり日当たりも良く、整形部分は現況よりも広い。</p> 	<p>校舎は体育館、地域子ども館と一体化し、南側にまとめ、校庭は東西方向に開かれた配置。既存校舎よりも北側が開け、南側の校舎の奥行が増える配置。 既存プール(平置き)部分に、1階に地域子ども館、屋上にプールを設置。 校庭は北向きで校舎の影が落ちるが、整形部分は現況よりも広い。</p> 